

平成21年度企画展 橋本左内と安政の大獄

- 会場 企画展示室
- 会期 平成21年8月14日(金)～10月12日(祝・月)
- 休館日 9月1日(火)・2日(水)

越前福井が生んだ幕末の俊秀・先覚者橋本左内(号：景岳)の没後150年を記念して、左内の刑死の真相と、その背景を残された数少ない史料から分析し紹介します。

今回の展示構成は、橋本左内の国事奔走時代から、一橋派の敗北、藩主春嶽の処分と大獄の経過そして左内の刑死、左内と松陰との関係、没後の影響など5つのコーナーにより関係史料の展観をしています。

どうかこの機会に「安政の大獄」という史上稀にみる非情な大弾圧を弾圧者と処分(連座)者の両方の視点から考えてみてください。

1. 国事奔走時代の橋本左内

藩校明道館の改革に努力していた24歳の橋本左内は、安政4年(1857)8月、松平春嶽の命を受けて、侍読兼御内用掛として春嶽に近侍することになりました。

春嶽からの内命は、將軍後継ぎ問題で、英明の誉れが高く人望のあつが一橋慶喜を將軍の後継ぎに決定するよう幕府の要人や京都の公家たちを説得することでした。松平春嶽の片腕として活躍した橋本左内の活動を史料によって紹介します。



井伊直弼詠和歌贊肖像画
京都井伊美術館蔵

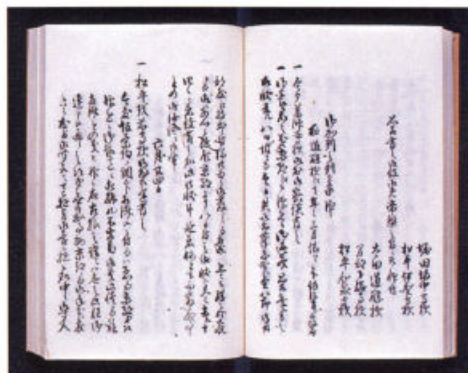
2. 一橋派の敗北と松平春嶽

橋本左内の学識と見識は、多くの人々を感動させましたが、將軍継嗣血統論を盾に紀伊藩主徳川慶福(のちの家茂)を擁立した政敵井伊直弼の大老就任により春嶽はじめ一橋派は、加速度的に敗北に追い込まれました。大老井伊直弼は、徳川慶福を將軍後継に強行決定し、松平春嶽をはじめとする一橋派の諸侯や反対派を厳罰に処しました。福井藩では、藩主春嶽が隠居慎みを命じられるという不幸を蒙りましたが皮肉にも隣の鯖江藩では、藩主が老中に抜擢され井伊大老のもとで「安政の大獄」の指揮を執ることになります。

3. 安政の大獄と橋本左内

反対派の一扫をはかった井伊直弼による安政の大獄は、約80名の処分に及びました。左内にもその弾圧の手は伸び、安政5年(1858)10月22日に至って、藩邸内に謹慎を命じられました。その後左内はほぼ一年間奉行所や評定所で、執拗な取調べを受けました。左内は堂々と論陣をはり幕府役人の中にも理解者が現れるほどでありました。

そして、幽囚時代の左内は、静かな研究と読書の日常を送っています。



『公用方秘録』木俣本 京都井伊美術館蔵

4. 橋本左内の最期と吉田松陰

安政6年(1859)10月2日、江戸伝馬町獄舎に入獄を命じられた橋本左内は、同7日ここで斬首に処せられました。はじめ左内の処罰案は「遠島」でありましたが、やがて付け札により「死罪」に決し、執行されました。この間の裁判記録が彦根藩井伊家文書として残っています。また、同じく左内の20日後に刑死した吉田松陰との最期の交流が松陰の遺書「留魂録」などに見受けられます。左内と松陰は互いに認め合いながら見えることなく同じ牢獄でこの世を去ったのです。

5. 橋本左内没後の影響

左内なき後、主君松平春嶽や左内の上司であった中根雪江をはじめとする福井藩の人々、そして残された兄弟たちによって左内の偉業や生涯が書き綴られ、語りつがれていきました。人々の追悼活動など没後の影響について史料で紹介します。

| No. | 列品名 | 頁数 | 所蔵 |
|------------------------|-------------------------------------|---------|---------|
| 1. 国事奔走時代の橋本左内 | | | |
| 1 | 富岡永洗筆橋本左内肖像画（木版画） | 1幅 | 当館 |
| 2 | 徳川慶喜筆「一貫」の大字書幅 | 1幅 | 春文 |
| 3 | 松平春嶽筆『時勢急務策』 | 1綴 | 春文 |
| 4 | 橋本左内筆三條実万への呈書控 | 1通 | 春文 |
| 5 | 中根雪江宛書状貼交六曲屏風 | 六曲一双 | 春文 |
| 6 | 橋本左内筆上京往返の旅書・雑費覚 | 1巻 | 当館 |
| 7 | 橋本左内筆「安政丙辰二月日録」 | 1冊 | 春文 |
| 2. 一橋派の敗北と松平春嶽 | | | |
| 8 | 『公用方秘録』木俣本 | 3冊 | 京都井伊美術館 |
| 9 | 松平春嶽書状残片橋本左内宛（左内の川路左衛門尉説得に際しての書下） | 1巻 | 春文 |
| 10 | 近藤了介自詠和歌の幅 | 1幅 | 当館 |
| 11 | 近藤了介書状 安政五年四月十二日付 橋本左内宛 | 1通 | 春文 |
| 12 | 井伊直弼詠和歌賛肖像画 | 1面 | 京都井伊美術館 |
| 13 | 井伊直弼愛用居合刀 | 1口 | 京都井伊美術館 |
| 14 | 岡野吉孝祝文（『社務日鑑』巻之一より） | 1通 | 橋本政宣氏 |
| 15 | 徳川斉昭筆「有恥而生不如無恥而死」の書幅 | 1幅 | 春文 |
| 16 | 波頭鯉蒔絵硯箱 | 1具 | 春文 |
| 17 | 松平春嶽 手形並びに惜別の自詠和歌幅 | 1幅 | 当館 |
| 3. 安政の大獄と橋本左内 | | | |
| 18 | 梅田雲浜筆「野人載酒来」云々の詩幅 | 1幅 | 当館 |
| 19 | 岩瀬忠震筆「海航誰自任」云々の詩幅 | 1幅 | 春文 |
| 20 | 三国幽眠筆「橋上臨湖面」云々の詩幅 | 1幅 | 当館 |
| 21 | 三国幽眠著「笑草」原本並びに刊本 | 各1冊 | 当館 |
| 22 | 橋本左内筆幕吏の審問に対する応答次第書 | 1通 | 春文 |
| 23 | 橋本左内獄中よりの密書写 瀧勘蔵・石原甚十郎宛 | 2通（1巻） | 春文 |
| 24 | 橋本左内筆 幽囚中の筆記帳類 | 3冊 | 春文 |
| 25 | 橋本左内筆「兵変量り難く」云々の詩稿幅 | 1幅 | 当館 |
| 26 | 橋本左内筆「一代儒宗」云々の詩並びに佐々木長淳筆「油断大敵」貼交ぜの幅 | 1幅 | 当館 |
| 27 | 「三友遺墨」（安島帯刀・茅根伊予之介・橋本左内書状中根雪江宛）の幅 | 1幅 | 春文 |
| 4. 橋本左内の最期と吉田松陰 | | | |
| 参考展示 | 松平春嶽筆『逸事史補』 | 1冊 | 春文 |
| ●28 | 大獄関係者処罰案・罪状書上・仕置窺書 | 3枚 | 彦根城博物館 |
| 29 | 吉田松陰肖像画（複製） | 1幅 | 松陰神社 |
| 30 | 吉田松陰自賛 福川犀之助宛 | 1幅 | 萩博物館 |
| 31 | 吉田松陰書状 安政六年五月小田村伊之助（樹取素彦）夫人寿宛 | 1冊 | 萩博物館 |
| 参考展示 | 橋本左内筆獄中で吉田松陰に贈った詩（『景岳橋本左内遺墨帖』より） | 1紙 | 当館 |
| 32 | 橋本左内筆「雪中松柏愈青々」云々の詩幅 | 1幅 | 春文 |
| 33 | 吉田松陰手記『留魂録』（複製本） | 1綴 | 松陰神社 |
| 5. 橋本左内没後の影響 | | | |
| 34 | 松平春嶽書状万延元年九月四日付 松平茂昭宛 | 1通 | 越文 |
| 35 | 岡野吉孝筆「社務日鑑」巻之二 | 1冊 | 橋本政宣氏 |
| 36 | 中根雪江筆『橋本左内事迹』（『夢物語』） | 1冊 | 春文 |
| 37 | 伊藤博文筆「吊橋本景嶽先生墓」の詩幅 | 1幅 | 春文 |
| 38 | 重野安繹撰・巖谷修筆「橋本景岳之碑」碑文原本 | 1幅 | 当館 |
| 39 | 橋本左内常滑焼座像（複製） | 1体 | 当館 |
| 40 | 松平慶永（春嶽）筆橋本綱紀（左内）霊代新調遷霊祭々文等 | 4紙（未表具） | 当館 |

特別ギャラリートーク

企画展「橋本左内と安政の大獄」の展示史料を熟覧しながら担当学芸員が解説します。

8月22日（土）午後2時～3時（予定）
（2階・企画展示室）

テーマ展予告

9月3日（木）～10月12日（祝）
テーマ展「越前松平家の名品Ⅲ」
（松平家史料展示室）

展示解説シート No.43

平成21年8月14日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市永3丁目12-1
電話 (0776)21-0489 FAX(0776)21-1489

担当 角鹿尚計
印刷 創文堂印刷株式会社
電話 (0776)22-1313 FAX(0776)25-1030